

# 授業づくり



## 生徒指導の視点を意識した授業

授業づくりにおいて、次の四つの視点を意識することで、子どもに自律性・社会性が育まれます。

### 目的意識

- ・ 課題が何であるかを明確に捉え、「課題を解決したい」という思いを強くもつ。
- ・ 分かったこと、できるようになったことを明らかにし、学びの過程を振り返る。

### 自己決定

- ・ 根拠に基づいて、自分なりの考えをもつ。
- ・ 友達の考えを基に、自分の考えを強化・修正する。

### 個性・能力

- ・ 自分に合った方法や役割を選択する。
- ・ 自他の考えを生かしながら、解決を目指す。

### 協同性

- ・ 課題解決のために役割を分担する。
- ・ 友達と積極的に意見を交流・検討する。
- ・ かかわり合って解決したことのよさを自覚する。

提示

課題

ライブ・ニング

まとめ

振り返り

## 安心して参加できる授業

「学習課題」と「まとめ」のある授業では、子どもが見通しをもち、安心して学習に参加することができます。

### 合理的配慮

基礎的環境整備に加えて、必要に応じた配慮を行うことで、安心して学習に参加できる子どももいます。

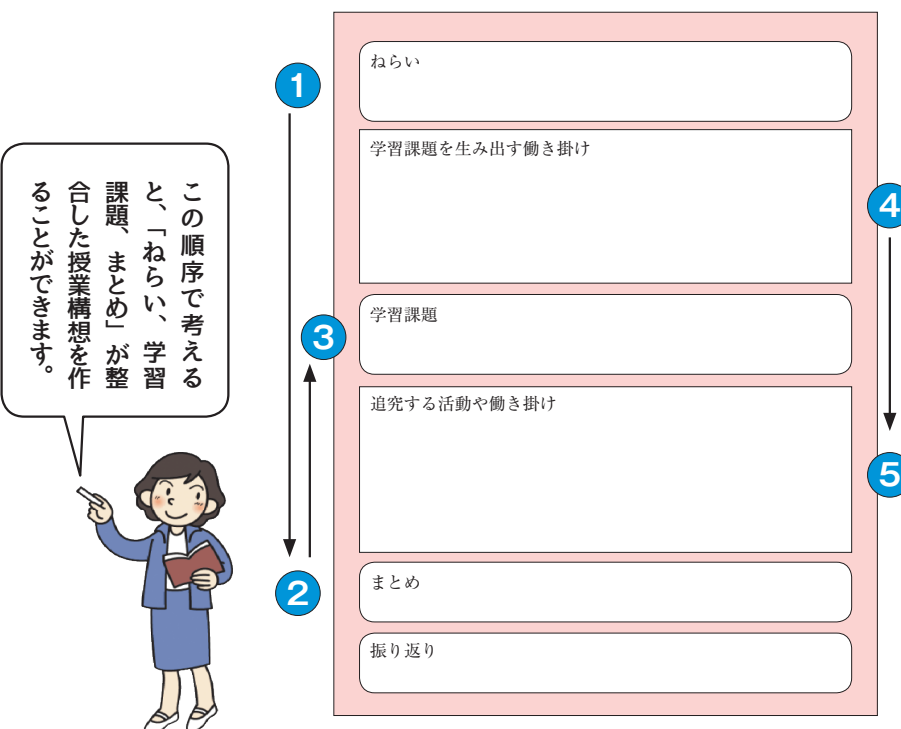
例えば

- ✓ 漢字にルビを振って読みやすくする。
- ✓ 課題の量を調整する。

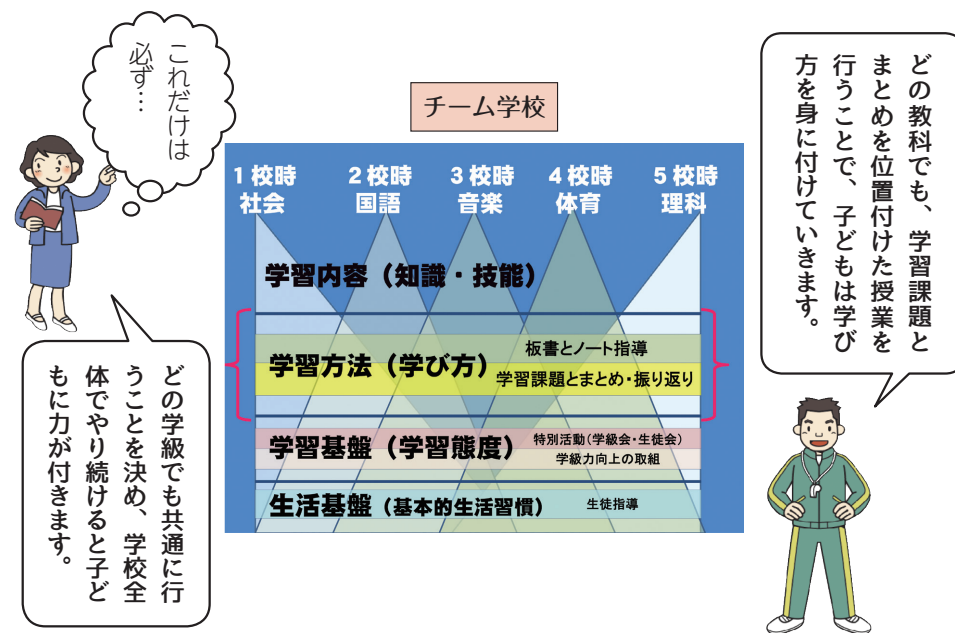
### 個別の支援

ICTを活用した視覚的な資料提示

## 授業構想カードを使い、日常的に取り組む



## 「選択と集中」「やりきる」で成果をあげる



## 「選択と集中」「やりきる」で学校が変わる!!

# 新潟市の授業づくり

## 新潟市が目指す授業づくり

- ◇主体的・協働的な学びを実現する  
「学習課題とまとめ・振り返り」のある授業
- ◇生徒指導の視点を意識した授業
- ◇全ての子どもが安心して参加できる授業

# 新潟市が目指

## 主体的・協働的な学びを実現する授業

「学習課題」と「まとめ」のある授業を継続することで、子どもに学び方が身に付きます。

### 「何を学んでいるのか」

- ・ 「問いを見付ける力」が高まり、子どもが自ら学習課題を設定できるようになる。
- ・ 対話によって協働が生まれ、思考が深まる。
- ・ 子どもが自ら学習課題を追及できるようになる。

### 「何が分かり、できるようになったのか」

- ・ 子どもが自ら分かったことをまとめられるようになる。

### 「どのように学んでいるのか」

- ・ 子どもが自ら学びを自覚できるようになる。



問題

学習

アクテラー

まとめ

振り返り

## 全ての子どもが安心

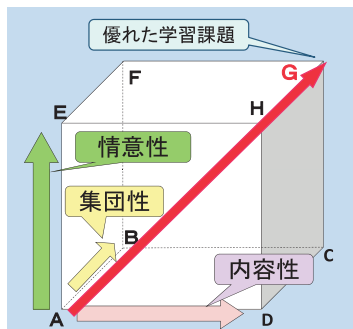
### 基礎的環境整備

「学習課題」=赤枠  
「まとめ」=青枠など  
一目で分かる板書の工夫

### 学習集団全体への支援

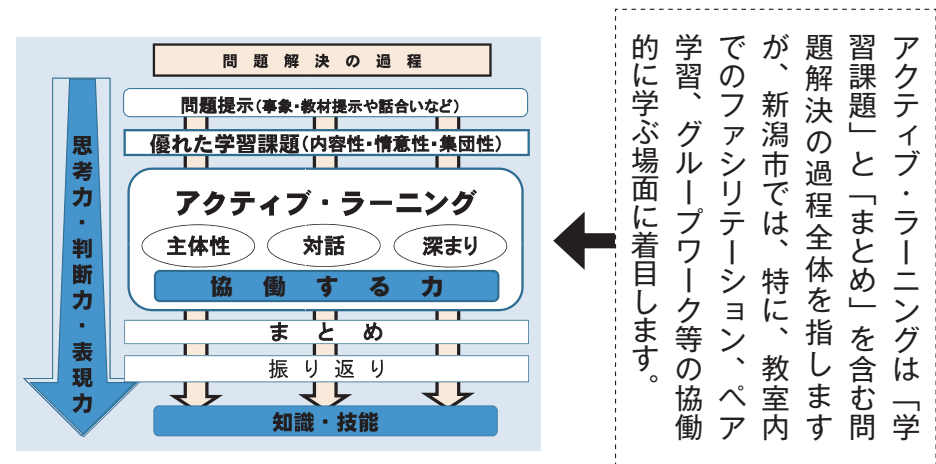
## 優れた学習課題とアクティブ・ラーニング

内容性、情意性、集団性の高い、優れた学習課題を設定します。



- ・ **内容性**…学習課題の求める内容が、学習指導要領に示されている指導内容と的確に対応している。
- ・ **情意性**…子どもの興味・関心や問題意識、必要感を基に設定されている。
- ・ **集団性**…学級全体が追究に向けての意欲をもっており、子ども同士がかかわる必要がある。

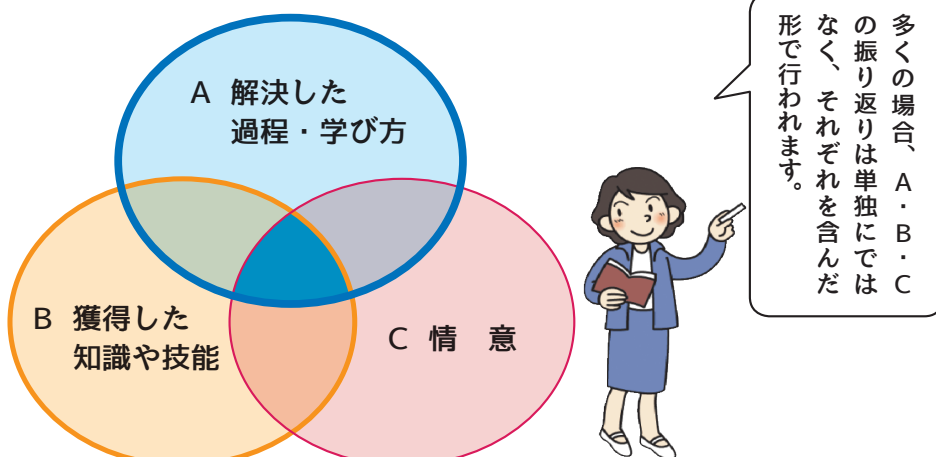
優れた学習課題を設定することで、児童生徒に**主体性**が発揮され、**対話**によって協働性が生まれ、学習が**深まり**ます。



アクティブ・ラーニングを繰り返すことで思考力・判断力・表現力が高まり、協働して問題を解決する力が身に付いていきます。

## 「学び」を自覚する振り返り

授業の終末や単元の節目の時間に振り返りの場を計画的に設定し、次の三つの「学び」を自覚できるようにします。

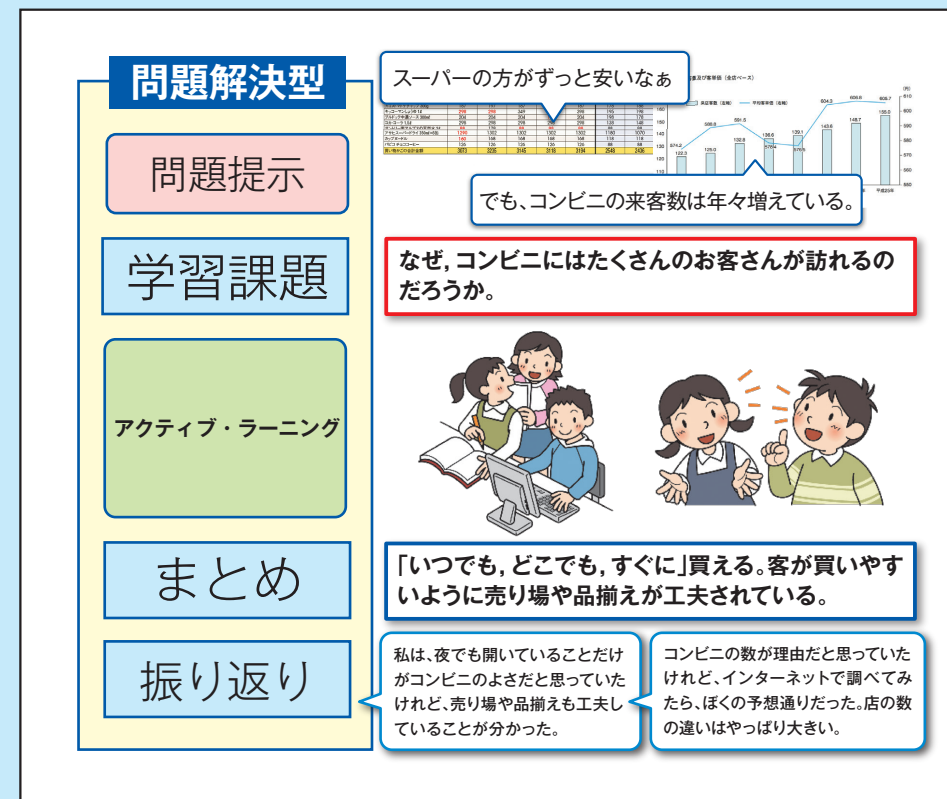


# 「学習課題とまとめ・振り返り」のある授業 三つのフレームワーク

※教科・領域の特質や本時のねらい、児童生徒の実態等に合わせ、適切なフレームワークを弾力的に適用します。

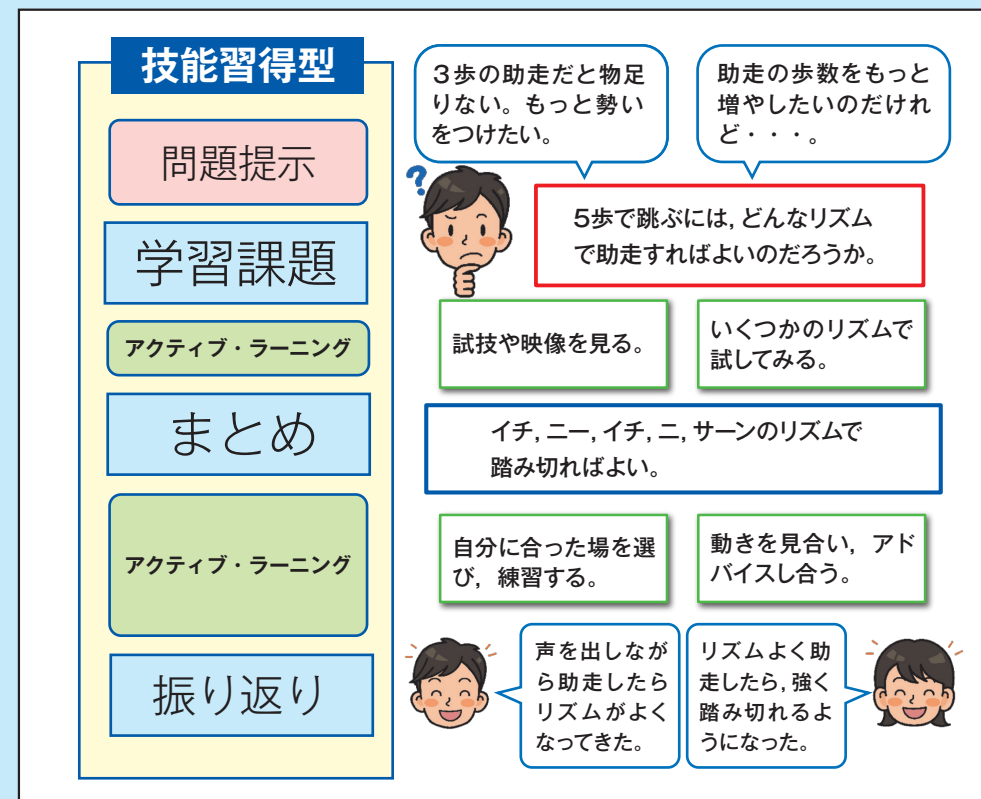
## 【問題解決型】

全ての授業の基本形



## 【技能習得型】

「～できる」を授業のねらいとして設定する場合



## 【単元型】

「学習課題」から「まとめ」「振り返り」までを複数時間で構成する場合

